

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成27年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成	
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,600	6,000	6,000	6,300	6,600
		(b) 予算現額	5,078	5,079	5,599	5,489	5,910
		(c) 増減額 (b-a)	-522	-921	-401	-811	-690
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	5,078	5,079	5,599	5,489	5,910
	B. 執行済額		5,078	5,079	5,599	5,489	5,610
	うち交付金充当額		4,062	4,063	4,479	4,391	4,488
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.9%
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残により990千円不用となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃)	目 標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
		実 績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
	捕獲器の設置(R5年度25器) (R4年度20器設置)	目 標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	
		実 績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
	巡回管理(週1回)	目 標	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	
		実 績	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施	
達成 状 況 説 明	・ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 ・令和5年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は3匹であった。 ・引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	ハブ咬傷による被害件数0件	目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実 績		0件	0件	0件	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件づつハブによる咬傷被害が発生していましたが、令和2年度から令和5年度まで4年連続でハブ咬傷被害件数は0件と成果目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまでの清掃業務は除草作業が主で実施していたが、樹木の剪定、枝打ちなどを行ったことで、フェンス外からハブの侵入を阻止できたものと思われるが、隣接する別の敷地の草木が繁茂して来ており、ハブの侵入や住処にならないか懸念している。 ・ハブフェンスゲートを数日間開放した状況がみられたので管理を徹底する必要がある。	・捕獲器の改良(侵入口の取替)や数を増やすなどで捕獲数を上げたい。 ・ハブ目撃現場付近の清掃及び除草作業を呼びかけ又は実施し、ハブの住処を排除する。また、集中的に捕獲器を設置し捕獲率を上げたい。
今後の取り組み方針		
・青少年旅行村においては多くの観光客や村民が利用する場所であることから、管理委託業者や隣接する地主と連携を密にし清掃・捕獲の効率化と安全対策を図っていく。 ・捕獲業務においては、ハブ捕獲器の改良(入口取替)を試験的に実施し捕獲率の向上を図りたい。また、、目撃現場に集中的に捕獲器を設置して捕獲率を上げたい。。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,610</td><td>5,610</td><td>4,488</td><td>1,122</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,610	5,610	4,488	1,122	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,610	5,610	4,488	1,122	0										
<pre> graph LR A[伊江村 5,610千円] --> B[委託料 5,610千円] B --> C["(有)城山土木 (清掃・捕獲業務) 5,610千円"] subgraph D [伊江村ハブ対策事業 (清掃・捕獲業務)] B C end </pre>														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として指名競争入札を執行していることから妥当であったと考える。 ○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。(土木単価+見積) ○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

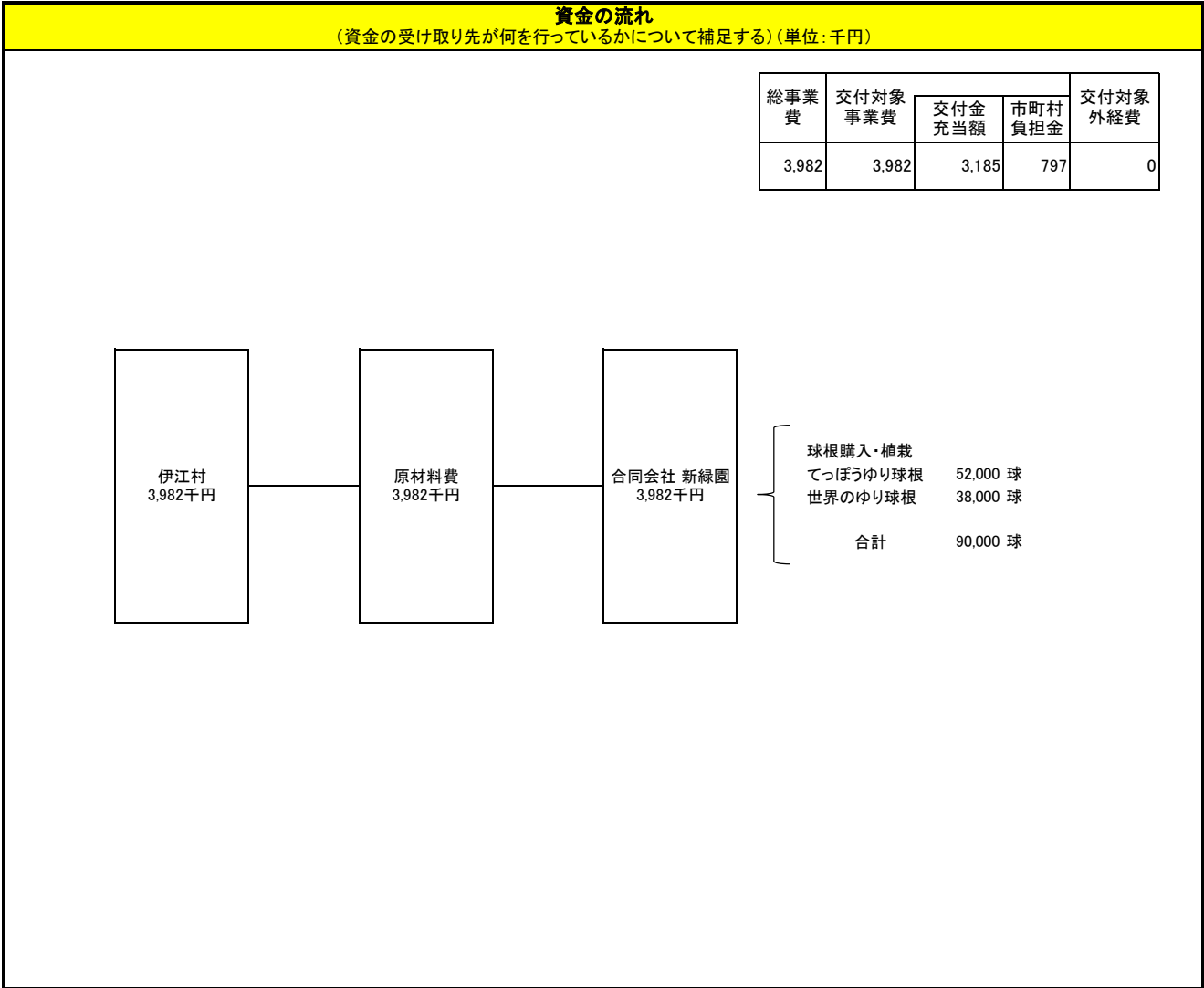
市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア		
担当部課名	公営企業課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、経済的な不利性をもたらす割高な交通運賃は、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減事業について往復1台あたり820円の支援を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	14,175	15,170	15,170	16,072	16,072
		(b) 予算現額	15,866	14,595	14,666	15,775	16,072
		(c) 増減額 (b-a)	1,691	-575	-504	-297	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	15,866	14,595	14,666	15,775	16,072
	B. 執行済額		15,866	14,462	14,581	15,775	16,263
	うち交付金充当額		12,692	11,569	11,664	12,620	13,010
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.1%	99.4%	100.0%	101.2%
予算の状況の説明		当初19,600台程度の補助を予定していたが、新型コロナ禍が明けたことから観光業や帰省等の利用者の増加により、191千円の増額補正となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	目 標	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実 績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成 状 況 説 明	・車両航送1台につき運転手1名分(820円)の補助を行った。 ・平成26年度から事業を開始し、令和元年度までは航送実績が増加傾向にあり、令和2年度から令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う来島自粛要請等により、減少傾向であった。 ・令和5年度は、新型コロナ禍が明けたことから観光業や帰省等の利用者が増加した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進 捗 状 況 説 明	本事業へのアンケート調査を行った結果、移動しやすい環境になったかの問いに「とても実感している」、「やや実感している」との回答が80%以上となっている。また、今後も継続してほしいとの回答が100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の必須事項であり、住みよい村づくりに繋がっているものとする。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本事業の浸透により、対象件数は減少しているが、未だ離島住民割引カードの利用有効期限切れにより、チケット購入時に正規価格で購入せざる負えない状況がある。 ・車両予約システムの活用により、スムーズな車両航送予約ができています。しかし、航送の30分前には所定の場所で待機するよう村HPや防災無線等で周知を図っているが、未だ駆け込み乗船が見受けられる。	・利用有効期限更新の申請方法や申請時期などの周知を定期的に行う必要がある。 ・車両航送に係る留意事項について、村HPだけではなく、村内防災無線や公式SNS等を活用し村民や観光客への継続した周知徹底を図っていく。
今後の取り組み方針		
・引き続き村ホームページ及び広報誌、村内防災無線等により当該事業の継続実施や、離島住民割引カードの新規、更新申請方法について、地域住民へ周知するとともに、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16,263</td><td>16,263</td><td>13,010</td><td>3,253</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,263	16,263	13,010	3,253	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,263	16,263	13,010	3,253	0										
<pre> graph LR A[伊江村 16,263千円] --> B[補助金 16,263千円] B --> C[伊江村 (公営企業課) 16,263千円] C --- D[補助金 車両航送に対する補助] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は唯一の航路事業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額補正があったものの概ね妥当である。 ○費目・使途については予定通りであり、実績報告・検査を実施したところ、目的に即し適正なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	村花・世界のゆり植栽推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	良質なゆりの球根を購入し、村花であるてっぽうゆりと多彩な世界のゆり球根を確保し植栽することで、「タ日とロマンのフラワーアイランド」を推進し、花の島づくりによる景観形成を図り、地域活性化と観光振興を図ることができる。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		(b) 予算現額	2,713	3,652	3,960	3,980	4,000
		(c) 増減額(b-a)	-287	-348	-40	-20	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,713	3,652	3,960	3,980	4,000
	B. 執行済額		2,713	3,652	3,960	3,980	3,982
	うち交付金充当額		2,713	2,921	3,168	3,184	3,185
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.6%
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ゆりの球根購入・植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	目 標	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
		実 績	ユリの球根購入・植栽 82,250球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
			目 標	()	()	()	()
		実 績					
達成 状 況 説 明	・テッポウユリ球根52,000球、世界のゆり球根38,000球を購入し、ゆり祭り会場であるリリーフィールド公園及び観光地並び 沿道等へ植栽した。令和5年度「第26回伊江島ゆり祭り」は4年ぶりに通常開催ができ、期間中は多くの来場者が訪れた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	目 標	(33,000人)	(33,000人)	(35,000人)	(33,000人)	()
		実 績		祭り中止 実績なし	祭り規模縮小 4,500人	通常開催 28,000人	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進 捗 状 況 説 明	・第26回伊江島ゆり祭りは、4年ぶりに通常開催することができた。期間中には多くの来場者が訪れ、テッポウユリや世界のゆり100種 を觀賞していた。フェリーの乗船制限があり、会場へ来れない来場者も多かったが、ゆり祭りの魅力を伝えることが再確認できた。次 年度以降も根強いピーターを確保するために、工夫した植栽管理を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・植え付け時期等、品種によって異なるため、購入時期を慎重に検討していくことが必要である。 ・古い球根や、前回の球根の植栽においては疫病にかかりやすく他の球根まで影響する事から、今後も新たな球根の購入をしていく事が必要である。 ・観光客は新品種や珍しい品種を鑑賞する事を楽しみにされている方が多い事から、ニーズに応えられるよう品種選定を行う。 ・コロナ感染症の影響により、観光客の入域数が大幅に減少したことや、フェリーの乗船人数を制限したこと等が成果目標を達成できなかった要因だと考えられる。	・購入球根の保管方法や疫病予防の消毒等、受注業者と調整を図り計画的に遂行する。 ・今後も引き続き新品種の導入に向けた球根選定を行い、継続して観光誘客の向上に繋げる取り組みを行う。
今後の取り組み方針		
・球根の種類により、植え付け時期や開花予定の日が異なるため、開花予定日数を逆算し植付の計画を立てる。 ・球根の購入時期については発注計画を立て導入したい球根の在庫不足にならないように早めに実施する。 ・購入したい品種の選定、数量を早めに決定する。 ・継続して新品種を導入することで、ゆり祭りの魅力を更に向上させ観光誘客に繋げる。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約した業者は、てっぽうゆり及び世界のゆり球根を生産・調達できる村内唯一の業者となっているため妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数の見積書を徴収し予算を決定しているので適正な規模であると考え。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	観光地クリーン事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和13年		沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	魅力的な観光地として景観形成及び観光客数の維持・増加を図る為、観光地の美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	20,800	51,700	54,000	55,000	54,000
		(b)予算現額	20,731	51,700	52,690	52,900	54,000
		(c)増減額(b-a)	-69	0	-1,310	-2,100	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	20,731	51,700	52,690	52,900	54,000
	B.執行済額		20,731	51,700	52,690	52,900	52,800
	うち交付金充当額		16,584	41,360	42,152	42,320	42,240
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%
	予算の状況の説明		当初予算額より1,200千円の減額については、入札執行に伴う減額です。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村、城山、ミースイ公園、ニャティヤ洞、湧出、ニール森公園・芳魂の塔周辺、伊江港ターミナル周辺	目 標	(8か所)	(8か所)	(8か所)	(8か所)	
		実 績	8か所	8か所	8か所	8か所	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	今年度も引き続き、観光地等における美化作業及び緑化木管理等を民間事業者へ委託業務を行った。課題であった効率化も定期的に管理を行うことが出来たため、安定した景観向上に寄与することができている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地として景観形成が図れたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	(70%)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		100%	100%	90%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答が90%であり、目標値の80%以上を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・草の伸びる時期が春先から夏場は重なるため、業務方法を工夫する必要がある。 ・発注スケジュールを計画的に遂行する。 ・取り組み実績を把握するため、適宜現場での立ち合い、写真管理等により現場状況をしっかりと把握する必要がある。 ・機械化により効率が良くなる半面、安全管理を徹底し事故の無い安全な現場管理に努めるよう促す。	・春先から夏場の除草スケジュール管理方法や人員確保による執行が可能かどうか検証する。 ・機械化の導入により効率化が図れることから、受注業者と遂行方法及びスケジュールの確認を密に行う。 ・台風等の災害が起こった場合は、復旧における業務の範囲を事前に確認し、効率よく復旧作業に取り組める準備をしておく。 ・機械化による安全管理の徹底を促し、事故の無い業務執行に努める。
今後の取り組み方針		
・委託業務により、業務を遂行するため、適宜に現場確認や状況確認を行う。 ・観光地美化による作業日程管理、作業個所の優先順位や方法等、最適な作業効率化を図り、観光地として景観向上に引き続き取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>52,800</td><td>52,800</td><td>42,240</td><td>10,560</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	52,800	52,800	42,240	10,560	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
52,800	52,800	42,240	10,560	0										
<pre> graph LR A[伊江村 52,800千円] --> B[委託料 52,800千円] B --> C[合同会社 新緑園 52,800千円] C --> D[観光地管理委託 ・リリーフィールド公園 ・伊江村青少年旅行村 ・城山周辺 ・ミースイ公園 ・ニヤティヤ洞 ・湧出展望台 ・ニーバナ森公園・芳魂の塔 ・伊江港ターミナル周辺] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザル公募により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	観光誘客整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成26年度～令和13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進			
事業内容	伊江村の観光振興を図るため、伊江島ゆり祭り誘客事業(2件の委託業務)、観光インフォメーション委託事業等を実施した。 また、新規事業として夏場の観光誘客を図るため、観光地周遊バス運行事業を実施した。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☒ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	125,984	49,298	30,895	48,083	45,773	
		(b) 予算現額	78,913	47,114	22,371	14,348	44,941	
		(c) 増減額 (b-a)	-47,071	-2,184	-8,524	-33,735	-832	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	78,913	47,114	22,371	14,348	44,941	
	B. 執行済額		78,913	47,114	21,368	14,348	44,104	
	うち交付金充当額		63,130	37,690	17,094	11,478	35,283	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	95.5%	100.0%	98.1%	
予算の状況の説明		不用額は、入札残や実績による減額や事業取り下げ等によるもの。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	伊江島ゆり祭り誘客向上業務の実施		目 標	()	()	()	(2件業務実施)	
			実 績				業務完了	
	<観光誘客推進事業> 伊江村観光地周遊バス運行委託業務の実施		目 標	()	()	()	(618回)	
			実 績				537回	
	観光インフォメーション委託業務の実施		目 標	()	()	(観光インフォメーション委託業務)	()	
実 績					業務完了			
達成状況説明	全ての事業において、概ね予定通り達成することが出来た。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	①青少年旅行村来場者数 R5:96,000人		目 標	()	(28,000人)	(96,000人)	(96,000人)	()
			実 績		5,230人	15,446人	24,757人	
	②本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。		目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実 績		100%	100%	100%	
	進捗状況説明	①青少年旅行村の来場者数はR5年度96,000人を目標値としていたが、目標値を大幅に下回る結果となった。観光客数は増加傾向にあるため、継続して取り組みを行っていきたい。 ②観光客等へのアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されているというアンケート結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光地の機能向上を図るため、更なる観光誘客に繋げる取り組みを行う。 ・コロナ以前の観光誘客を図るため、イベント等を積極的に行い、観光振興を図る。 ・コロナ感染症の影響により観光客の入域者数が大きく減少しているため、成果目標を達成することができなかった。また、観光客を通年呼び込むことが今後の課題である。	・伊江村の更なる観光誘客を図るため、村の一大イベントであるゆり祭りの活性化による根強いリピーターの確保、夏場の観光誘客を図るため、観光地の機能向上や施設整備などに 取り組んでいく必要がある。 ・アフターコロナとして、観光PR映像や自粛していた県内外でのイベントを積極的に参加し、伊江村の知名度を向上させることで、通年通して観光誘客を図る取り組みを実施する。
今後の取り組み方針		
・地域住民及び有識者の意見を踏まえながら、今後も観光施設の機能強化を図り、更なる観光客の受入体制を強化することで、伊江村の観光振興の向上に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																	
<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象事業費</td><td>交付金</td><td rowspan="2">市町村負担金</td><td rowspan="2">交付対象外経費</td></tr><tr><td>充当額</td></tr><tr><td>44,104</td><td>44,104</td><td>35,283</td><td>8,821</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村負担金	交付対象外経費	充当額	44,104	44,104	35,283	8,821	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村負担金	交付対象外経費													
		充当額															
44,104	44,104	35,283	8,821	0													
<table><tr><td rowspan="5">伊江村 44,104千円</td><td>旅費 52千円</td><td>52千円 観光事業所、県外イベントへの出張旅費 支出先業者:①一般社団法人伊江島観光協会</td></tr><tr><td>需用費 2,251千円</td><td>2,251千円 伊江村PR用消耗品費(パンフレット・ガイドブック等) 支出先業者:①株式会社ちとせ印刷 ②有限会社サンエス</td></tr><tr><td>役務費 224千円</td><td>224千円 イベント新聞協賛広告料金、クリーニング代 支出先業者:①協同組合沖縄産業計画 ②株式会社タイムスアドネクスト ③メディコプレス株式会社</td></tr><tr><td rowspan="3">委託料 41,577千円</td><td>27,379千円 伊江島ゆり祭りイベント誘客委託業務 支出先業者:①有限会社ワールドイベントコーポレーション</td></tr><tr><td>(株)伊江島観光バス 7,155千円 伊江島ゆり祭り会場等送迎バス委託業務</td></tr><tr><td>(株)伊江島観光バス 4,215千円 伊江村観光地周遊バス運行委託業務</td></tr><tr><td></td><td>伊江島観光協会 2,828千円 観光インフォメーション委託業務</td></tr></table>					伊江村 44,104千円	旅費 52千円	52千円 観光事業所、県外イベントへの出張旅費 支出先業者:①一般社団法人伊江島観光協会	需用費 2,251千円	2,251千円 伊江村PR用消耗品費(パンフレット・ガイドブック等) 支出先業者:①株式会社ちとせ印刷 ②有限会社サンエス	役務費 224千円	224千円 イベント新聞協賛広告料金、クリーニング代 支出先業者:①協同組合沖縄産業計画 ②株式会社タイムスアドネクスト ③メディコプレス株式会社	委託料 41,577千円	27,379千円 伊江島ゆり祭りイベント誘客委託業務 支出先業者:①有限会社ワールドイベントコーポレーション	(株)伊江島観光バス 7,155千円 伊江島ゆり祭り会場等送迎バス委託業務	(株)伊江島観光バス 4,215千円 伊江村観光地周遊バス運行委託業務		伊江島観光協会 2,828千円 観光インフォメーション委託業務
伊江村 44,104千円	旅費 52千円	52千円 観光事業所、県外イベントへの出張旅費 支出先業者:①一般社団法人伊江島観光協会															
	需用費 2,251千円	2,251千円 伊江村PR用消耗品費(パンフレット・ガイドブック等) 支出先業者:①株式会社ちとせ印刷 ②有限会社サンエス															
	役務費 224千円	224千円 イベント新聞協賛広告料金、クリーニング代 支出先業者:①協同組合沖縄産業計画 ②株式会社タイムスアドネクスト ③メディコプレス株式会社															
	委託料 41,577千円	27,379千円 伊江島ゆり祭りイベント誘客委託業務 支出先業者:①有限会社ワールドイベントコーポレーション															
		(株)伊江島観光バス 7,155千円 伊江島ゆり祭り会場等送迎バス委託業務															
(株)伊江島観光バス 4,215千円 伊江村観光地周遊バス運行委託業務																	
	伊江島観光協会 2,828千円 観光インフォメーション委託業務																
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・委託業者は、①イベント関連等業務の為、プロポーザル方式で業者を選定しており、妥当であった。 ②③随意契約により業者を決定したが、島内唯一のバス事業者となっているため、妥当であった。 ④随意契約により業者を決定したが、観光関連の情報に精通している、事務所が港内にある等理由から妥当であった。 ・旅費、需用費、役務費等の支出については、村の会計規則等に基づき、仕様書の作成等により見積書を確認し、業者の選定を実施しているため妥当である。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。															
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。															
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。															

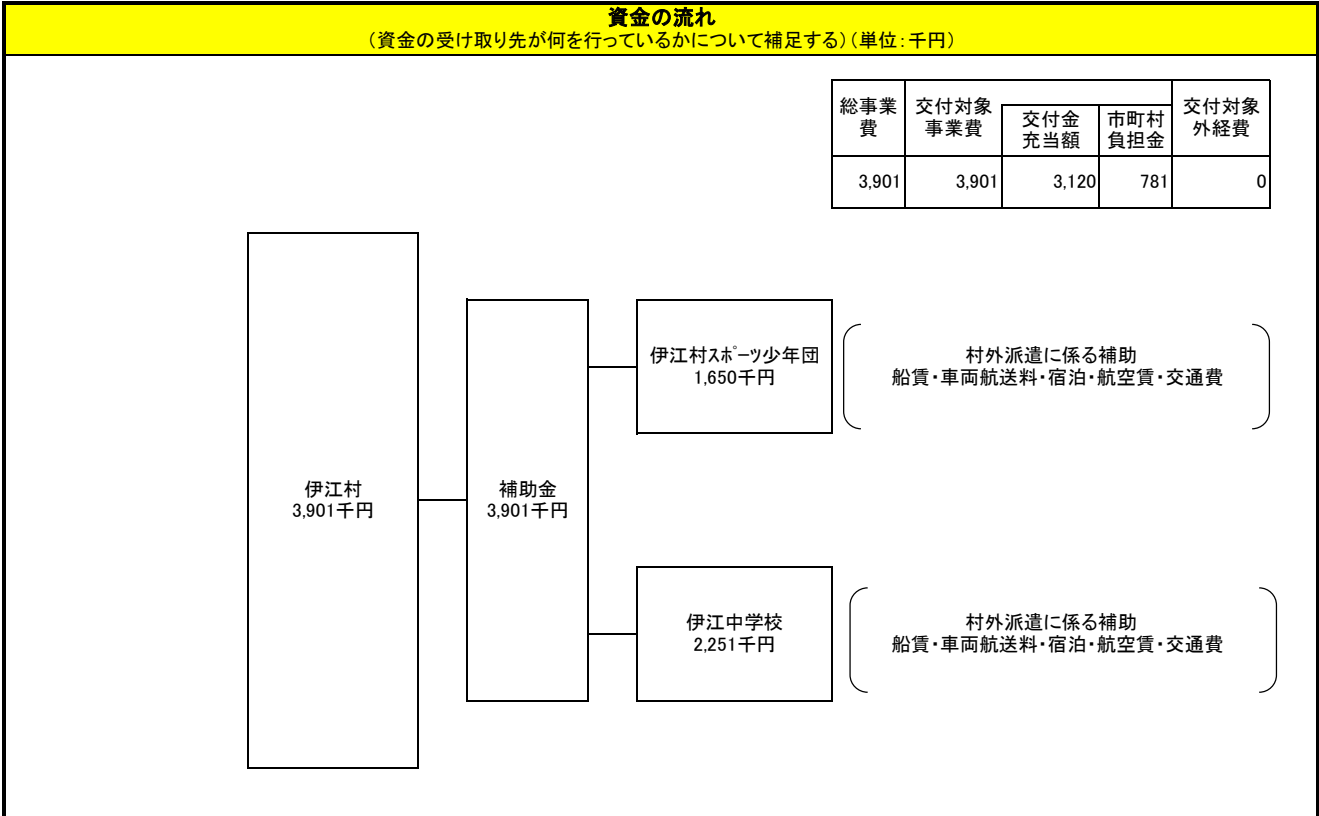
市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-1	確かな学力を育む学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	伊江村教育委員会教育行政課	事業実施 (予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	小中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身に付けさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立していくための土台づくりを行う。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☒ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	15,876	22,134	28,750	30,440	31,964
		(b) 予算現額	13,940	27,077	27,868	26,418	24,080
		(c) 増減額 (b-a)	-1,936	4,943	-882	-4,022	-7,884
		(d) 繰越額					0
		A. 計 (b+d)	13,940	27,077	27,868	26,418	24,080
		B. 執行済額	13,940	27,077	27,868	26,418	22,446
		うち交付金充当額	11,151	21,661	21,622	21,134	17,957
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.2%
	予算の状況の説明	当初3学校4名の計12名配置を予定していたが、人員を確保できず、結果9名の配置になった為、大幅にマイナスが生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学校(2校8人配置)	目 標	(2校6名)	(2校8名)	(2校8名)	(2校8名)	
		実 績	2校8名	2校8名	2校6名	2校6名	
	中学校(1校4人配置)	目 標	(1校3名)	(1校3名)	(1校4名)	(1校4名)	
実 績		1校4名	1校3名	1校4名	1校3名		
達成 状況 説明	学習支援員配置については、小学校に8名予定が、人員が確保できず目標人数達成できなかったが、本務教諭と連携をとりながら学習支援をおこなった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
		目 標	()	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	()
		実 績		県平均正答率との差 ○小学校3年 ○小学校4年 小3小4においては コロナウイルス感染 症の影響により未実 施。 ○小学校5年 国語-8 算数-11 ○小学校6年 国語-10 算数-7.9 ○中学校1年 国語-3.3 数学+ 12.5 英語+10.7 ○中学校2年 国語+9 英語+3.1 数学-8	※R5の県到達度調 査は小5～中2にて 実施された。 ○小5 国-6.5、算-6.1 ○小6 国+1.8、算+1.3 ○中1 国-8.1、数-14.6、 英-2 ○中2 国-7.7、数+1、 英-1.8	※R5の県到達度調 査は小5～中2にて 実施された。 ○小5 国-5.0、算-1.4 ○小6 国-7、算-8.2 ○中1 国-7.4、数-8.2 英+4.8 ○中2 国-6.3、数-17.4 英-7.8	
進 捗 状 況 説 明	2月に実施の県到達度調査では、中学1年生英語において県の平均を上まわる成果となった。 小学校5年算数について、結果は前年度より落ちている(-1.4)が、6月調査より県との差を大きく詰めた(+11.4P)。また、6年(算)、中 1(国・数)、中2(国)も今年度前半と比べて県平均との差を縮めた。 各学校において授業改善や手厚い指導の成果が見られたものの、県平均との差は大きい。 引続き授業者との連携を更に密にしながら、児童生徒の学力向上に取り組んでいく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○教科によって苦手意識を抱えている児童生徒に対する支援の方法について、担任と共通理解を図りながら支援する体制を構築・実践し、授業内での理解はできているが、復習等の取組みの弱さから、学習の定着には至っていない。	○目標は達成できなかった学年もあるが、数値から、少しずつではあるが着実に学力が身につけてきている。 ○引き続き授業改善に努めていくとともに、授業者と支援教諭が協力し、困り感のある児童生徒に対する支援体制の強化と、学習の定着を図るための方策について担任と学習支援教諭が協議し、チームで取り組んで行く。
今後の取り組み方針		
○村主催の「学習支援教諭研修会」において、困り感のある児童生徒へのアプローチや支援方法の成功事例の共有を図り、児童生徒への個に応じた支援方法の実践を図る。 ○村教委と各学校の管理職、担任と学習支援教諭の連携を重視し、学習の進度や児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、自立した学習者の育成を目指す。 ○学習支援教諭の安定的な人材の確保に努め、資質向上に資する研修の機会を保障することで、児童生徒の学力の向上を支えていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,446</td><td>22,446</td><td>17,957</td><td>4,489</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <pre> graph LR A[伊江村 22,446千円] --> B[報酬・給料・期末手当 22,446千円] B --> C[会計年度任用職員9名 22,446千円] subgraph D [] C end D --- E[中学校学習支援員3人給料・期末手当] </pre>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	22,446	22,446	17,957	4,489	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
22,446	22,446	17,957	4,489	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものとする。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-2	各種大会派遣費助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	伊江村教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成25年～令和13年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習 環境の充実		
事業内容	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,400	4,400	4,000	3,200	4,000
		(b)予算現額	3,918	705	2,200	2,967	4,000
		(c)増減額(b-a)	-482	-3,695	-1,800	-233	0
		(d)繰越額					0
		A. 計(b+d)	3,918	705	2,200	2,967	4,000
	B. 執行済額		3,918	705	2,200	2,967	3,901
	うち交付金充当額		3,134	564	1,632	2,373	3,120
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%
予算の状況の説明		令和5年度より新型コロナウイルス5類移行に伴い、活動制限が緩和され、大会派遣助成が実施できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	各種大会派遣費の助成:1,550人	目 標	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	
		実 績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	新型コロナウイルス5類移行に伴い、活動制限が緩和され、大会数が増え、児童生徒の技術力向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 村外派遣 伊江中学校 925名、スポーツ少年団 1,070名						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		90.30%	90.10%	90%	
	【参考指標】 R4年度末時点:約1,550人	目 標	()	(1,550人)	(1550人)	(1550人)	()
		実 績		662人	1,501人	1995人	
	進 捗 状 況 説 明	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が90%であった。 このことから、技術力・競技力の向上や交流の機会をもつことで、村外の児童生徒に対しても臆することなく交流ができた、村内の児童生徒の視野が広がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・令和5年度より新型コロナウイルス5類移行に伴い、活動制限が緩和され、各団体ともに、村外の児童生徒との交流が行われ、村内の児童生徒が広い視野を持つことで、技術力・競技力の向上が図られた。	・各種競技の申請者(中学校教員・スポーツ少年団会計担当)を集め、本事業に係る説明会を引き続き行う。対象経費に関する書類の管理や保管を共通理解を持つ。また、社会的環境においてキャッシュレス(カード払い)での精算は、本村では対象外経費として扱っているため引き続き周知する。
今後の取り組み方針		
・各種競技の申請者は、毎年度変わるため事務手続きの注意事項や本事業に係る説明会を引き続き年度始めに行う。 ・児童生徒の広い視野を持つことができたどうかの検証について、引き続き保護者アンケートで実施する。		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%に近い数値となり、予算規模は適正であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に基づき受益者負担を設定しており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	伊江村型就業意識向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な職業能力の育成・開発	
						Ⅲ-1-(2)	
事業内容	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,800	5,850	5,849	5,850	5,850
		(b) 予算現額	5,800	5,234	5,849	5,803	6,540
		(c) 増減額 (b-a)	0	-616	0	-47	690
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	5,800	5,234	5,849	5,803	6,540
	B. 執行済額		5800	5234	5,849	5,803	6,540
	うち交付金充当額		4640	4187	5,849	4,642	5,231
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (％) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		公募型プロポーザル方式にて業者選定を実施し、予算執行に関しては当初予算を689千円上回っての実施となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	小学生50名・中学生119名	目 標	(小・中対象)	(小・中対象)	(小・中対象)	(小・中対象)	
		実 績	小学生33名・中学生114名	小学生35名・中学生111名	小学生36名・中学生117名	小学生48名・中学生115名	
	企業訪問・体験1回	目 標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	
		実 績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	
	職業人講話3回	目 標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実 績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	
	リーダー層育成1回	目 標	()	()	(リーダー層育成の開催)	(リーダー層育成の開催)	
		実 績			中学生2名	中学生2名	
達成状況説明	・小学生ではワークショップ形式で事前学習から企業訪問、事後学習及び発表会を行った。 ・中学校では1年生～3年生までワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施した。 ・令和4年度に選抜された中学生2名による「生徒が考える伊江村の課題」について分析や県内・県外の企業訪問、情報の整理・アイデア検討などのリーダー育成プログラムでの発表会を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		97.75%	98.25%	97%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	・小学生を対象にワークショップ形式でキャリア教育プログラムを行い、発表会まで実施。プログラムの中で島の特産品についてインタビューを村内の飲食店へ行い、島への愛着を育むことができた。 ・中学生を対象にワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施する中で、アイデアの深堀やディスカッションを多く行い、思考力やコミュニケーション力など島建ち後にも必要なスキルの育成、自身の考えを他者に伝える大切さの意識付けにつながった。 ・中学生の選抜者による発表会では、県内・県外へ企業訪問して学んだことを、自身の考えに落とし込み、他者へ伝えることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・小学生のキャリア教育については、ワークショップ形式で実施し、プレゼンテーションを通して「仕事とは何か」といった将来への意識付けを図ることができた。 ・中学生において、ワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施したことにより、15の島立ちにむけたスキルや意識の醸成を図ることができた。 ・成果目標達成について、委託事業者・教育委員会・学校において十分に連携し、事業を実施できたことが要因と考えられる。	・授業等についてこれらない児童・生徒が各学年で数名見かけられた。教員と連携を図ることにより適切な学習支援を行うことができるとかんがえられるため、プログラム全体の打ち合わせや、授業ごとの細かな部分でのすり合わせを行っていくことで、児童生徒全体での就業意識向上へつながっていくと考えられる。
今後の取り組み方針		
・同事業を継続して行っていくことで、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋げ、将来の本村を担う人材育成を図る。 ・プログラム全体の打ち合わせや、授業ごとの細かな部分でのすり合わせについては、担当教員と担当者間での進捗状況等の共有、授業後に生徒の反応を踏まえ意見交換を実施する。(各々得意、不得意があるため、担当教員との意見交換を行うことで、授業のペースを調整できる。)		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,540</td><td>6,540</td><td>5,231</td><td>1,309</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,540	6,540	5,231	1,309	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,540	6,540	5,231	1,309	0										
<pre> graph LR A[伊江村 6,540千円] --> B[委託料 6,540千円] B --> C[株式会社 先端教育ラボ 6,540千円] C --> D[伊江村型就業意識向上支援事業] </pre>														
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。 ○予算規模は、全ての事業執行をしており、適正である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部課名	福祉課	事業実施 (予定)年度	R2年度～R7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
						Ⅲ-3-(3)		
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額		3,000	13,000	31,600	7,120	
		(b)予算現額		4,686	13,700	27,355	7,120	
		(c)増減額(b-a)	0	1,686	700	-4,245	0	
		(d)繰越額	0	—	0	0	0	
		A.計(b+d)	0	4,686	13,700	27,355	7,120	
	B.執行済額			4,686	13,465	26,015	8,067	
	うち交付金充当額			3,748	10,772	20,812	6,453	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	100.0%	98.3%	95.1%	113.3%	
予算の状況の説明		令和5年度は駐車場・説明版設置を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	整備工事の実施	目 標	()	()	(実 施)	(実 施)		
		実 績			完了	完了		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	令和5年度は駐車場・説明版の設置を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (6年度)
	整備工事の実施完了	目 標	()	()	(完 了)	(完 了)	()	
		実 績			完了	完了		
	【R6年度成果目標】 施設利用者に対してアンケート調査を実施し、 効果的な平和学習による施設利用が可能と なったか(80%以上)を含め、当該事業のあり 方を検証する。	目 標	()	()	()	()	(80%)	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	令和5年度は駐車場・説明版の設置を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・令和7年度以降駐車場整備において対象用地が相続対象用地であること、また、用地取得にさらなる交渉が必要になることが予想されるため慎重に事業を進めていく。 ・整備後においては、平和学習等での活用方法について課題である。既存の戦跡と、一括交付金で整備した箇所の戦跡巡りのルートの検討が必要である。	・事業完了後の戦跡巡りのルート検討、平和学習等後世へ伝えるための効果的な取り組み方法について検討していく。
今後の取り組み方針		
・駐車場・説明版の整備を令和7年度までに完了する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
伊江村 8,067千円 伊江村戦跡等周辺環境整備工事 6,857千円 伊江村戦跡等周辺環境整備工事・現場技術業務 1,210千円				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	8,067	8,067	6,453	1,614
				交付対象外経費
				0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により発注し妥当であったと考えている。 ○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ	
担当部課名	伊江村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進		
事業内容	学校における教員のICT機器の活用を図るため、村内の小中学校にICT支援員を配置し、教師が授業でICT機器を活用した効果的な授業が行えるよう支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,280	7,260	7,260		
		(b)予算現額	5,280	7,260	6,963		
		(c)増減額(b-a)	0	0	-297		
		(d)繰越額			0		
		A.計(b+d)	5,280	7,260	6,963		
	B.執行済額		5280	7,260	6963		
	うち交付金充当額		4224	5,808	5570		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		適正に執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	村内3学校にICT支援員を1名配置する。	目標	()	(小中学校 1人)	(小中学校 1人)	(小中学校 1人)	
		実績		小中学校 1人	小中学校 1人	小中学校 1人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内3学校にICT支援員を計画通り配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(7年度)
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		小1～小3 87.8% 小4～中3 70% 平均 77.2%	小1～小3 80.5% 小4～中3 88.4% 平均 84.5%	小1～小3 80.5% 小4～中3 88.9% 平均 84.7%	
	・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		71.4%	64.7%	62.5	
	進捗状況説明	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が84.7%、また、教員にアンケート実施し、ICT支援員の配置により、機器の習熟度が上がったと答えた割合が62.5%となった。 児童生徒に関しては目標には達したが、教員に関しては、目標には届かなかった。その中でも、ICTを活用することで授業が効果的になったかの問いに対しては100%の回答だった。今後も引き続き研修等を重ね、ICT活用を促していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	GIGAスクール構想に基づき整備する各種ICT機器は、電子黒板やパソコン、1人1台タブレット、高速大容量の校内ネットワークなど多岐にわたるものとなり、その運用や保守には迅速な対応が求められる。 教員の中では、ICT関係が得意、不得意な方もいることから、村独自で導入しているデジタル教材(多機能、AI型ドリル)などを用いて演習問題や習熟度に合わせて活用する様に取り組んでいるが、活用にまだバラつきが見られる。	習熟度の個人差を解消することを目的に、教員の個別の研修が図れないか検討する。また、デジタル教材の使い方や導入事例などを教員の研修に組み入れることを検討する。
今後の取り組み方針		
村で導入しているデジタル教材を活用し、積極的にタブレット活用を促していく。また、新たに導入した校務支援システムや学習eーポータルへの対応も進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,963</td><td>6,963</td><td>5,570</td><td>1,393</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 伊江村 6,963千円 委託料 6,963千円 株式会社アール・イー・アイ (ICT支援員) 6,963千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,963	6,963	5,570	1,393	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,963	6,963	5,570	1,393	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、実績、履行能力等を勘案し、プロポーザル方式で選定しており妥当である。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保された。 ○費目・使途については、事業目的達成に必要な委託に充当し、限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	ひとり親世帯等学童利用支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会 教育行政課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	ひとり親家庭等の困難を抱える 保護者への支援		
事業内容	ひとり親家庭の学童利用に係る負担軽減を図り、学童保育を利用できる環境を整え、学童利用者に対し利用料を減免した場合に補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,481	1,701			
		(b)予算現額	811	1,701			
		(c)増減額(b-a)	-670	0			
		(d)繰越額		0			
		A.計(b+d)	811	1,701			
	B.執行済額		811	539			
	うち交付金充当額		648	431			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	31.7%			
予算の状況の説明		当初に計画していた対象者21名から11名への実績に伴う、予算額2,245千円の減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学 童保育施設に対し、補助を行う。	目 標	(1園)	(1園)	()	()	
		実 績	1園	1園			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	利用料の減免に対する支援について、対象世帯へ1ヶ月10,000円の全額利用料免除を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (7年度)
	安心・安全に子どもを預ける事ができ、育児の 負担軽減されたか(80%以上)を含め、対象とな る児童生徒の保護者へのアンケートにより、本 事業のあり方を検証する	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実 績		100%	100%		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	学童保育を利用するひとり親家庭・非課税世帯への利用料全額免除を実施したことにより負担軽減を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・保護者の就労形態の多様化や放課後の居場所確保などの理由から学童を必要とする家庭は増加するものと思われる。 ・保護者が利用する学童へ直接申請し、学童が請求・助成を行うことにより保護者の手続きを簡略化し、保護者が学童を利用しやすい環境となっている。	今後も継続して事業を行う中でアンケートの実施を検討し、学童を利用する保護者への負担軽減を確認するとともに目標達成を継続する。
今後の取り組み方針		
4月に入ってくる申請者だけでなく、年度途にでてくる対象者にも支援の漏れがないよう、学童クラブとの連携を図り継続的に周知を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>539</td><td>539</td><td>431</td><td>108</td><td>0</td></tr> </table> 伊江村 (539千円) 負担金 539千円 青空学童 (539千円) ひとり親家庭等の学童クラブ利用料免除に係る補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	539	539	431	108	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
539	539	431	108	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村ひとり親家庭等預かり保育料補助事業実施要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。 ○予算規模について、当初に想定していた児童数から減数し、予算残が生じたため、次年度以降、見直しを図る。 ○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であった。 ○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	離島定住環境基盤整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 沖縄振興基本方針 該当箇所	第4章-2-(8)-工	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和5年度			離島を結び支える安全・安定的 でシームレスな交通体系の構 築	
事業内容	III-9-2						
効果発現年度	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。						
実施方法	■当年度 ■後年度(令和7年度)						
	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他 (請負)						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額		72,500			
		(b) 予算現額	11,176	86,846			
		(c) 増減額 (b-a)	11,176	14,346			
		(d) 繰越額		0			
		A. 計 (b+d)	11,176	86,846			
		B. 執行済額	11176	86,644			
		うち交付金充当額	8940	69,315			
		次年度繰越額		0			
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	99.8%			
	予算の状況の説明	予算の範囲内で適切な執行を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	荷さばき施設新築工事の実施	目 標	()	(工事の実施)	()		
		実 績		工事の実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	スムーズに工事が施工され、目標のとおり年度内で施設が完成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (6年度)
	荷さばき施設新築工事の実施	目 標	()	()	()	(施設完成)	()
		実 績				施設完成	
	【R6年度成果目標】 年間取扱量: 5,000トン	目 標	()	()	()	()	(5,000トン)
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できるよう、伊江港荷さばき施設が完成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建設資材の価格上昇や杭工事費の増などにより、貨物の一時保管のための扉の設置は見込めないが、当初予定した規模での施設整備を行った。	施設を整備することで、貨物の受渡しなどで安心・安全な荷さばきが可能となるものと思われる。
今後の取り組み方針		
施設の完成に伴い令和6年度からの供用開始により安心・安全な荷さばき実施のため、伊江港での貨物取扱業務を行う民間事業者を指定管理者として、荷さばきの実施と施設の維持管理を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>86,644</td><td>86,644</td><td>69,315</td><td>17,329</td><td>0</td></tr></table> 伊江村 86,644千円 委託料 4,059千円 工事請負費 82,585千円 有限会社 大成プラン (監理業務) 880千円 株式会社 シビルエンジニアリング (磁気探査業務) 3,179千円 有限会社 伊江島開発 (整備工事) 82,585千円 伊江港荷さばき施設整備工事 監理業務 伊江港荷さばき施設整備工事 磁気探査業務 伊江港荷さばき施設整備工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	86,644	86,644	69,315	17,329	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
86,644	86,644	69,315	17,329	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札を執行していることから妥当であったと考える。 ○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。 ○工事及び業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に実施されていると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10-①	優良繁殖雌牛預託増頭支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア			
担当部課名	農林水産課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と生産 供給体制の強化			
事業内容	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(令和 年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	30,000					
		(b) 予算現額	15,000					
		(c) 増減額 (b-a)	-15,000					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	15,000					
	B. 執行済額		1437					
	うち交付金充当額		1149					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		9.6%					
予算の状況の説明		当初予算にて30,000千円を計上し、事業実績として1,437千円の執行額となった。予算計上額に対して著しい予算現額の減少理由として、近年における畜産資材等の物価費用の高騰並びに、セリ市場素牛価格の大幅な下落が畜産経営に多大な影響を及ぼしたことで、事業受益者である生産者の増頭意欲の低下に繋がり、執行率の低下となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	優良繁殖雌牛(子牛・初妊牛)の計画導入補助:30頭(年間)	目 標	(30頭)	()	()	()		
		実 績	7頭					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、導入価格の一部を支援する補助金交付事業を実施したが、近年における畜産資材等の物価費用の高騰並びに、セリ市場素牛価格の大幅な下落が畜産経営に多大な影響を及ぼしたことで、事業受益者である生産者の増頭意欲の低下に繋がり、執行率の低下となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (7年度)	
	成果目標指数(年間:30頭導入)の達成	目 標	()	(30頭)	()	()	()	
		実 績		7頭				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	○県内家畜市場から7頭の新規繁殖雌牛の導入が図られた。 ○当初事業計画(導入計画)頭数を大幅に下回る実績となり、目標値を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○近年、農家の高齢化に伴う畜産経営の廃業・離農が相次ぎ、経営戸数及び家畜飼養頭数の減少が問題となっている。 ○近年、家畜飼料代をはじめ、畜産資材経費の上昇が経営を圧迫しており、これに伴い子牛市場取引平均価格の下落が生じ、生産基盤の拡大が厳しい状況となっている。 ○これらの畜産情勢により、生産者の新規繁殖雌牛の増頭意欲の低下が生じている。	○現在、伊江村畜産総合施設へ妊娠牛預託を行っている者を事業受益者と規定しているが、預託に伴う空スペース(牛房)への増頭という観点から、子牛を預託している者(生産者)も本事業の受益者として補助金交付要綱の改正を検討していく。
今後の取り組み方針		
R5年度～R7年度にかけて90頭(30頭×3年)の優良繁殖牛(子牛・初妊牛)を導入予定		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,750</td><td>1,437</td><td>1,149</td><td>288</td><td>313</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,750	1,437	1,149	288	313
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,750	1,437	1,149	288	313										
伊江村 優良繁殖雌牛 預託増頭支援事業補助金 1,437千円 補助金 1,437千円 伊江村和牛改良組合員(受益者) 事業費:1,437千円 交付金:1,149千円 市町村:288千円 ほか、受益者負担:313千円 優良繁殖雌牛預託増頭支援事業補助金 受益者数:3名 導入頭数:7頭 新規繁殖雌牛1頭増頭毎に、 購買価格(セリ価格)の1/2上限500千円の														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす唯一の団体であり、選定は妥当だと考えている。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○家畜飼料代をはじめ、昨今の畜産情勢から、畜産生産基盤の拡大が厳しい状況に進行したため、執行残が生じたことから、次年度以降、見直しを図る。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○当該補助金は、消費税及び手数料、輸送費等は交付対象外と規定しており、セリ価格のみの1/2以内交付率であることから、妥当であるとする。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、補助金交付要綱に基づき補助額の確定時において支出等に関する要綱により確認した結果、適正であった。											

市町村名	伊江村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10-②	ET受精卵造成機器購入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化 Ⅲ-1-6		
事業内容	本村における体内受精卵移植事業において、現在優良受精卵造成時に様々な機器を用いて、受精卵の採卵からストロー封詰めまでを実施している。しかし、受精卵凍結作業に係る従来製品の「凍結機」では一度に凍結できるストロー本数や凍結作業段階において、ストロー破損及び移植受胎率の停滞が課題となっており、本事業において従来より性能が向上した新たな凍結機を購入し、凍結受精卵の受胎率向上及び受精卵移植事業の普及促進を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000					
		(b) 予算現額	2,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0		
		(d) 繰越額	0	—				
		A. 計 (b+d)	2,000	0	0	0		
	B. 執行済額		1530					
	うち交付金充当額		1224					
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		76.5%					
予算の状況の説明		当初予算にて2,000千円を計上し、事業実績として1,530千円の執行額となった。当初予算計上時には、企業メーカから複数の参考見積を取得しており、指名競争入札の執行により残額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	受精卵造成凍結機購入:1台	目標	(1台)	()	()	()		
		実績	1台					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	○事業実施計画通りに、受精卵凍結機を1台購入整備することができた。 ○納品された備品は、村が指定管理する伊江村畜産総合施設受精卵造成供給施設へ常置し、施設指定管理者の元で運用する。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(6年度)	
	成果目標指数の達成:採卵頭数年間50頭	目標	()	(50頭)	()	()	()	
		実績		15頭				
	【R6年度成果目標】 令和6年度:400個(30%増)	目標	()	()	()	()	(400個)	
		実績						
	進捗状況説明	令和5年12月に備品納品があり、令和6年1月より当該備品を採卵業務で運用開始した。令和6年3月末現在までに、12頭の採卵業務を実施し、業務にて生じる回収受精卵を当該備品にて100%凍結を実施している。備品納品時期が年度後期となったため、目標指数の未達成となったが、令和6年5月現在、毎月5頭前後の採卵業務を実施していることから、令和6年度においては、目標設定した単年度計画頭数を達成できる見込みで稼働している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○家畜の採卵行為については、獣医師の国家資格を所持した者しか業務を実施することができない。 ○これまで、村内の採卵業務については、家畜共済組合家畜獣医師(村駐在員)が採卵行為を実施していたが、県内獣医師不足により、駐在員数を減らすことが決定しており、令和6年度以降の採卵実施件数が伸び悩む懸念がある。	○個人開業獣医師の村内での獣医師活動の呼び込み周知。 ○ET(体内)採卵のみならず、IVF採卵(体外受精卵)事業の推進により、当該備品の稼働回数及び凍結受精卵の造成数の増加を目指す。 ○村外から出張採卵になることから、畜産農家を集団でとりまとめることにより、技術者の来島回数を低減させ、尚且つ毎回複数の採卵頭数計画を立てることにより、効率が良く実績の向上を目指す。 ○県内で活動している個人開業医の家畜獣医師を村内に呼び込み、出張採卵という形で、これまで通り村内の採卵事業を展開することができるよう事務交渉を図る。
今後の取り組み方針		
R6年度年間採卵頭数:50頭 R6年度年間凍結卵数:400個 改善余地項目の取り組み事項 伊江畜産青年部(島牛会)を中心に声掛けを行い、採卵頭数計画等の取り組みを行う。 JA伊江支店畜産課や授精師資格を持つ農家と連携して、個人開業獣医師の呼び込みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,530</td><td>1,530</td><td>1,224</td><td>306</td><td>0</td></tr></table> 伊江村 1,530千円 備品購入 1,530千円 株式会社 オキチク商事 家畜受精卵凍結機 購入 1,530千円 ET受精卵造成機器購入事業 (備品購入請負契約及び納品)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,530	1,530	1,224	306	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,530	1,530	1,224	306	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約事業者は、指名競争入札で選定されており、妥当である。 ○当初予算計上前に、複数の企業メーカから参考見積を取得し、これに応じた予算を措置をした。 ○受益者負担については、受益者が採卵行為を実施する際に、獣医師から頭数当りの採卵料を請求支払をしており、負担割合は妥当であると考える。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												